

平成30年度エイズ予防財団助成事業実績報告書

実施団体		特定非営利活動法人シェア＝国際保健協力市民の会
実施事業名		ピアエデュケーターによる若年層へのエイズ教育の実施および社会的啓発
団体代表者		本田 徹
事業の目的		若年層(主に10～30代)のHIV/AIDSに関する知識・意識の向上
事業の達成度		8名のピアエデュケーターを育成し、街頭アウトリーチや各種キャンペーンで啓発を行った。また、デザイン系専門学校学園祭でのエイズ教育をサポートし、AIDS文化フォーラムin 横浜において若年層に対する教育・啓発の意義を広く社会に伝えた。
事業実績	対象となった人数(実質)	約50名
	具体的な活動内容	【1.ピアエデュケーターの育成】 ・HAATASに所属する10～30代の学生及び社会人のボランティアメンバー8名を、主に青少年を対象にHIV/AIDSの啓発活動を行うことができるピアエデュケーターとして育成した。 ・定期勉強会を計11回、テーマを限定した勉強会(MSMへの啓発、薬物使用とHIV)を計2回行った。HAATASのメンバーはこれらに参加することで、HIV/AIDSの基礎知識や最新の動向を学び、シェアがタイ王国のエイズ教育で実践してきたワークショップ等の参加型手法の実践方法や工夫・留意すべき点等を習得した。 ・「MSMへの啓発」についての勉強会は、NPO法人aktaと協働して開催した。メンバーからは「HAATASが行う啓発活動の中でも、セクシュアリティの多様性や、誰もが心地よく自分らしく生きられる社会づくりについて、取り上げることが重要と感じた」などの気づきがあった。「薬物使用とHIV」についての勉強会は、オーストラリアに留学経験があり、現在、医学部の教員を務めるHAATASのメンバーを講師に、現地の事例をあげHIVと薬物使用の関係、世界で進められている感染防止のための取り組みなどについて取り上げた。 ・また、HAATASを代表してメンバー1名が公益財団法人エイズ予防財団主催のNGO指導者研修に参加し、NGOとして活動を継続していく上での課題や工夫について学んだ。また、第32回日本エイズ学会学術集会・総会をメンバー2名が聴講し、セクシュアリティの多様性を含めたHIV/AIDSの授業とその評価のあり方、啓発におけるU=U(Undetectable = Untransmittable)の位置付けなど、国内外の最新の動向について情報収集を行った。得られた成果は、定期勉強会を通じてシェアおよびHAATASのメンバーと共有した。 【2.エイズ教育の実施】 ・1.において育成されたピアエデュケーターが、デザイン系専門学校(東京デザイナー学院)の学生(主に18-19歳:20名程度)を対象に、学園祭での「ネイルにレッドリボンを」ブースの出展支援を行った。具体的には、HAATASのメンバー4名が、HIV/AIDSについての基礎知識講義、ブース来場者への具体的な啓発方法についてのロールプレイングを用いた練習の実施、啓発に使用する情報誌の監修を通して、学生にエイズ教育を行った。学園祭当日は、HAATASのメンバー1名がブースに立ち会い、学生の不安や疑問を解消しつつ、来場者に対し効果的な啓発が行えるよう具体的なアドバイスを提供した。 ・また、HAATASのメンバーは、デザイン系専門学校でのエイズ教育に先立ち、NGO-労働組合国際協働フォーラム HIV/エイズ等感染症グループのメーデー中央大会での、社会人・家族連れを対象としたHIVに関するクイズを用いた街頭アウトリーチ、公益財団法人エイズ予防財団が主催するエイズ検査普及週間街頭キャンペーン等への参加を通して、啓発活動の経験を蓄積した。啓発の実施にあたっては、経験豊富なHAATASメンバーから経験の浅いメンバーへ、啓発における工夫や配慮について、具体的な身体の動かし方、説明の方法を示しながら実践的に伝えた。 ・予定していた筑波大学付属高校における授業は、高等学校の担当教員の体調不良により、今年度は実施不可となった。来年度HAATASのメンバーが所属する大学にて、授業を実施するための準備を進めている。 【3.教育の重要性に関する社会への啓発】 ・HAATASが、第25回AIDS文化フォーラムin 横浜に出展し、若年層に対するHIV/AIDSの教育・啓発の意義を広く社会に伝えた。「大学1年生を対象に、HIV/AIDSの予防啓発に関する授業案を企画する」設定で、具体的な授業内容案、実現の可能性、若年層に受け入れられやすくなるための工夫について紹介するとともに、来場者15名程度と共に意見交換を行った。来場者は、大学や専門学校の学生や、それらの学校で授業を実施する立場にある教育・保健従事者など多様であり、「若者が関心を持ちやすい題材を用いてHIVについて学生に考えさせる手法は参考になる」など好意的なフィードバックがあった。また、本イベントの企画および運営は、現役大学生である新しいメンバーが中心になって行うことで、シェアや経験の長いHAATASメンバーから、知識・技術が次世代に受け継がれていくよう工夫した。 ・HAATASの認知度向上ならびに新規メンバーのリクルートによる事業継続性の向上を目的にロゴとグループ紹介パンフレットを作成した。これらの作成を通して「若者向けに活動を行いたい」「シェアとのつながりを大切にしていきたい」など、活動の軸となるコンセプトについて、メンバー間で改めて認識し共有することができた。成果物は、今後、広報のメインプラットフォームであるFacebookページで公開し、配布用紙媒体としても活用していく予定である。

活動の様子

活動の様子は、HAATAS Facebookページ<https://www.facebook.com/HAATASofficial/>で公開



「薬物使用とHIV」についての勉強会



AIDS文化フォーラムで、参加者とともにワークショップ



デザイン系専門学校での「ネイルにレッドリボンを」ブースにおいて、学生に効果的な啓発についてアドバイスを提供



メーデー中央大会におけるクイズを用いた家族連れへのアウトリーチ

HAATASとは

「日本の若者から若者へ」をコンセプトに HIV/AIDS の予防啓発活動を行っているボランティアチームです。

メンバーは、主に10～30代の学生や社会人が集まっています。

高校での授業や月1回程度のミーティングを行っているほか、普段はメールを使ってディスカッションや資料作成を行っています。

活動にあたっては、NGO シェア＝国際保健協力市民会の技術的サポートを受けています。

新規メンバー募集中！

HAATASは、一緒に活動するメンバーを募集しています。HIV/AIDS や健康教育、国際保健に関心がある方等、どんなでも歓迎です。

Facebook メッセージまたはメールで、お気軽にご連絡ください。

ミーティングやイベントの予定は、Facebook でご案内します。



主なミーティング会場

(特活)シェア＝国際保健協力市民会の会
11-0015 東京都台東区東上野1-20-6 九条ビルサロ

■青山千禧
四国地区 毎月5分 (広江地区では毎月9分、多摩地区では毎月5分)
上野駅 毎月9分 (広江地区では広江方面へ、四国地区は多摩)

■有明下町
四国地区 毎月9分 毎月5分 (広江地区)
大田区役所 上野駅有明駅 毎月9分 (広江地区)
有明駅・有明下町・有明地区 毎月9分 (広江地区)
つくばエクスプレス上野駅 毎月9分 毎月7分 (広江地区)

HAATASのロゴをとりいれた
グループ紹介パンフレット